

## はしがき

「トポロジー新人セミナー 2007」は、大阪市立大学 21 世紀 COE プログラム「結び目を焦点とする広角度の数学拠点の形成」からの一部補助を受け、2007 年 8 月 9 日(木)–12 日(日)に 国民宿舎 翁島荘 (〒969-3285 福島県耶麻郡猪苗代町大字翁沢御殿山 1048-14) にて開催されました。参加者は、全国各地の 8 つの大学から大学院生 20 名 (うち修士課程 14 名, 後期博士課程 6 名) であり、また筆者がアドバイザーとして参加しました。幹事は、大阪大学大学院修士課程 2 年 升本功樹くんでした。

参加したすべての学生が、現在すすめている研究についてあらかじめ準備されたアブストラクトに基づいて発表し、またそれをめぐって非常に活発な質疑応答がおこなわれました。

また、筆者も最後に「私的 3 次元多様体論」と題して講演をしました。内容は、昨年度のアドバイザーである秋吉氏に引き続いて、3 次元多様体論の最近の発展、特に、G. Perelman による研究成果の紹介と、昨年 8 月に行われた国際数学者会議 ICM 2006 におけるさまざまな話題についての報告でした。

今年度は例年に比べ参加人数は少なかったのですが、その分、より深く密度の濃い交流がなされたように感じます。実際、それぞれの研究分野や所属大学の垣根を越えて、数学的内容からそれぞれの生き方まで、お互いに刺激を受けつつ、その年代にしかできない貴重な議論がなされたと思います。

このようなセミナーが今後も揺るぎなく続くことを心より希望しています。

2007 年 9 月  
市原一裕  
奈良教育大学